

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名		放課後等デイサービス ばすてる 新座教室				公表日	令和6年11月20日	利用児童数	46
						実施期間	令和6年8月5日～8月20日	回収数	34
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	3	0	1			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	28	1	0	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2	0	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29	2	0	3	・2階のタイルカーペットの汚れが気になる。	・9月中に2階の床と壁紙の張り替えを行いました。	
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	31	3	0	0	・言葉ラボの先生(言語聴覚士)の講演が聞きたい。	・実施できるよう、検討して参ります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	2	0	0			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	32	2	0	0			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	2	0	5			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	1	0	2			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	1	0	0			
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	21	1	1	11			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	34	0	0	0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	2	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	31	3	0	0	・ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムがあるといいなと思います。	・下期で導入を検討しております。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	31	2	0	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	28	4	1	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	1	0	1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	15	9	2	8	・保護者会の開催は大変ありがたいですが、保護者同士の交流の時間が足りず、先生方ともう少し情報交換ができる機会があるといいと思います。	・下期に保護者様との意見交流会を企画しております。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	29	3	0	2			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	1	0	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	31	1	0	2			
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	0	0	0				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	7	1	12	・マニュアル等の周知説明を受けたことはないと思います。	・大変失礼いたしました。事業所にマニュアルは完備していますので、今後、ご案内させていただきます。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	4	0	11			
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	3	0	8			
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	3	0	7			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	34	0	0	0	・安心して自分を出せる場所になっています。	・ばすてるが心地よい居場所となり、嬉しく思います。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	33	1	0	0	・家族とのディズニーランドより、ばすてるを選ぶくらいに本人は楽しんで、満足しているようです。 ・楽しく通っています。他のお子さんの行動が気になって叩いてしまっているようなので、距離感や感情のコントロールの練習が活動の中でできたらと思っています。 ・毎回、ばすてるに行くのを楽しみにしています。 ・いつも、ばすてるに行くのを楽しみにしていて、先生やお友達に早く会いたいーいと言っています。 ・本人はいつも楽しく通わせていただけており、保護者としても大変ありがたいです。 ・とても楽しく通っています。 ・子どもは楽しんで通っています。 ・先生方がいつも優しく、イベントや長期休暇のお出かけなど沢山のことをしていただき子供がとても楽しく過ごさせています。 ・とても楽しく通所しています。 ・ばすてるの先生がちょっとこわいそうです(たぶん母がパソコンを使わずにバズと先生にお話ししているからだと思います)でも通所を楽しみにしているわけではないそうです。 ・本人が毎回の活動を楽しみにしていたり同年代の友達が集まっている環境はとても居心地が良いのだと思います。	・距離感や感情のコントロールの練習は、9月以降の活動で取り入れたいと思います。	

29	事業所の支援に満足していますか。	34	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが毎回通所の日を楽しみにしているので、満足しています。 ・いつもありがとうございます。 ・これからもよろしくお願いします。 ・よく子どものことを見てくれていると感じます。 ・いつも楽しく過ごさせて頂いています。学校や家での勉強内容をすぐに対応して頂いて感謝しています。イベントも楽しみです。これからもよろしくお願ひ致します。 ・いつも優しく見守り、様々な体験をさせてくださり、心から感謝しています。 ・いつも楽しく素敵なご支援をありがとうございます。利用させていただいた後は、毎回「楽しかった!」と繰り返し家で話しております。学校と家庭以外で、本人が安心して過ごせる居場所を見つけたことが親として何よりも嬉しく感じております。色々とお手をお借りする事が多い息子ですが、今後共、ご指導の程よろしくお願ひ致します。 ・事前、事後も含め、きめ細やかに指導して下さりありがたいです。 ・利用について満足しています。 ・新しい環境に慣れるのに時間がかかるとは思いましたが、先生方のおかげで楽しく通えるようになりました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんのご意見をいただき、ありがとうございます。高い満足度がいただけたことに、職員一同大変嬉しく思っております。今後も、皆様安心して楽しく活動できる「ばすてる」を続けて参りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。
----	------------------	----	---	---	---	---	---

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名		放課後等デイサービスばすてる 新座教室		公表日 令和6年11月20日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・机が可動式のため、必要に応じて、配置を変更することができる。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	4	1		・おもちゃの片付け場所や片付け方法をより細かく指定した方が良い。 ・一階の床を張り替えた方が良い。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	2		・子どもの療育記録を積み重ねていく仕組みがまだ不十分。 ・保護者の方以外の意見を聞く機会が少ない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	2	・プログラム作成チームを作り、新年度に向けて、プログラムを作成中。	・プログラムの公開はされていない。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用等により確認しているか。	2	3		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3	2		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・個別は難しいが、学習支援など人数で行う必要があるものに関して努力はしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	1			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	・主に活動を2つ同時に行っているため、選択の機会がある。また、土曜日のイベントには、お子さん自身の参加意欲の有無によって希望を出してもらおうとしている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0		
	27	地域の保健・医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		
	28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	5	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	3		
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0		
35	家族の対応力向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		・ペアレント・トレーニングは取り入れていきたい。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	2			
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0			
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		・地域の方を招く活動はしていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1			

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスばすてる 新座教室			
○保護者評価実施期間	令和6年8月5日		～	令和6年8月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46人	(回答者数)	34人
○従業者評価実施期間	令和6年8月9日		～	令和6年8月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数)	5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年8月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・子ども達にとって安心できる居場所、また来たいと思っただけの場所になっていること。	・新座教室のテーマを「enjoy!」とし、楽しい活動作りに専念している。 ・集団療育を通して、子ども達同士が関わり合う機会を多くしている。	・距離感の把握や感情のコントロールを学べる活動の充実を図る。 ・集団活動を苦手とするお子様に対しての個別療育プログラムを作成する。
2	・新しい経験や成功体験を積むことができる活動内容になっていること。	・月に一回、イベントを開催している。 ・小グループでの活動を行い、発言や体験の機会を多くしている。 ・活動する部屋を2つに分けて、子ども自身で活動を選択する機会を設けている。	・学校では体験できない活動の充実を図る。
3	・保護者会や保護者勉強会の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられていること。	・保護者会を学期に1回程度開催している。 ・講師を招き、保護者勉強会を定期的実施している。	・保護者同士の意見交流会の充実。 ・悩みや疑問を言い合える環境の設定。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・関係機関や保護者との連携が十分でないこと。	・保護者会での保護者同士の交流の時間が少ない。 ・保護者勉強会の内容を豊富にする必要がある。 ・就学前の様子や、他の放課後等デイサービスの様子を共有する機会が少ない。	・保護者勉強会にて、言語聴覚士の方の講演や、ペアレント・トレーニング等の家族支援プログラムの講演を実施する。 ・保護者同士の意見交換会を実施する。
2	・個別療育が難しいこと。	・集団療育が基本のため、個の課題解決より、集団での課題解決に向けての支援内容が多くなっている。	・支援プログラムを作成し、公表する。 ・個別活動又は、少人数での活動を増やす。
3	・保護者へマニュアル等の周知・説明が徹底されていないこと。	・訓練していることを保護者へ周知していない。 ・マニュアルの閲覧が事務所でしかできない。	・ブログやSNS等で、訓練の様子を掲載する。 ・HPにて、マニュアルの周知・説明を行う。